



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 北國フィナンシャルホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7381 URL <https://www.hfhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杖村 修司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 菊澤 智彦 TEL 076-263-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	34,723	—	18,968	—	13,611	—
2022年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 $\Delta 13,358$ 百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	508.95	—
2022年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は2021年10月1日設立のため、前年同四半期の計数及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないので記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,561,930	248,901	4.3
2022年3月期	5,712,233	264,258	4.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 241,145百万円 2022年3月期 256,557百万円

(注) 「自己資本比率」は、(四半期)期末純資産の部合計 - (四半期)期末非支配株主持分を(四半期)期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当社は2021年10月1日設立のため、2022年3月期第2四半期末までの計数は記載しておりません。

2. 2022年3月期は、単独株式移転により当社の完全子会社となった株式会社北國銀行が1株当たり40円の間配当を実施しています。当社の期末配当と合計した場合、年間配当金は1株当たり90円に相当します。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	—	7,500	—	281.57
通期	16,500	$\Delta 13.9$	10,000	6.5	375.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2021年10月1日設立のため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	26,908,582株	2022年3月期	27,908,582株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	272,397株	2022年3月期	1,118,382株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	26,743,511株	2022年3月期1Q	—株

(注) 1. 当社は2021年10月1日設立のため、前年同四半期の計数は記載しておりません。

2. 2023年3月期第1四半期及び2022年3月期末の自己株式には、当社の連結子会社である株式会社北國銀行の役員向け株式交付信託制度にかかる信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社の株式がそれぞれ105,024株、117,811株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(会計方針の変更)	P. 6
(会計上の見積りの変更)	P. 6
(追加情報)	P. 6
(重要な後発事象)	P. 6
3. 2023年3月期第1四半期 決算説明資料	P. 7
(1) 2023年3月期第1四半期損益の概況	P. 7
(2) 預金・貸出金等の残高(北國銀行単体、末残)	P. 9
(3) 時価のある有価証券の評価差額(北國銀行単体)	P. 9
(4) 金融再生法開示債権(北國銀行単体)	P. 10
(5) 自己資本比率(国際統一基準)	P. 11
(6) 重点取組業務収益の状況(連結)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

連結経営成績につきましては、経常収益は347億23百万円、経常費用は157億55百万円となりました。この結果、経常利益は189億68百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は136億11百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

連結財政状態につきましては、総資産は5兆5,619億円、純資産は2,489億円となりました。主要勘定では、預金については前連結会計年度比1,588億円増加の4兆4,170億円、貸出金は前連結会計年度比163億円減少の2兆5,688億円、有価証券は前連結会計年度比113億円減少の1兆3,446億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、2022年4月28日公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,607,871	1,481,481
コールローン及び買入手形	65,000	50,000
買入金銭債権	3,052	3,231
金銭の信託	13,528	13,555
有価証券	1,356,079	1,344,683
貸出金	2,585,262	2,568,871
外国為替	11,138	14,335
リース債権及びリース投資資産	35,195	35,322
その他資産	37,364	44,661
有形固定資産	31,388	31,050
無形固定資産	9,949	10,014
繰延税金資産	265	5,827
支払承諾見返	17,986	17,799
貸倒引当金	△61,849	△58,904
資産の部合計	5,712,233	5,561,930
負債の部		
預金	4,257,200	4,417,057
譲渡性預金	1,000	—
コールマネー及び売渡手形	618,824	407,355
債券貸借取引受入担保金	313,497	298,639
借入金	155,985	94,353
外国為替	1	3
社債	20,000	20,000
信託勘定借	154	156
その他負債	53,752	52,510
賞与引当金	747	5
退職給付に係る負債	2,398	2,123
役員株式給付引当金	496	410
睡眠預金払戻損失引当金	127	123
利息返還損失引当金	19	19
繰延税金負債	4,368	1,056
再評価に係る繰延税金負債	1,412	1,412
支払承諾	17,986	17,799
負債の部合計	5,447,975	5,313,028
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	29,727	27,165
利益剰余金	182,357	194,623
自己株式	△3,124	△1,210
株主資本合計	218,960	230,578
その他有価証券評価差額金	36,652	9,585
繰延ヘッジ損益	115	—
土地再評価差額金	2,296	2,296
退職給付に係る調整累計額	△1,467	△1,315
その他の包括利益累計額合計	37,597	10,566
非支配株主持分	7,701	7,756
純資産の部合計	264,258	248,901
負債及び純資産の部合計	5,712,233	5,561,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
経常収益	34,723
資金運用収益	10,873
(うち貸出金利息)	5,901
(うち有価証券利息配当金)	4,074
信託報酬	0
役務取引等収益	2,369
その他業務収益	4,209
その他経常収益	17,270
経常費用	15,755
資金調達費用	397
(うち預金利息)	23
役務取引等費用	915
その他業務費用	6,308
営業経費	7,435
その他経常費用	698
経常利益	18,968
特別利益	33
固定資産処分益	33
特別損失	68
固定資産処分損	7
減損損失	61
税金等調整前四半期純利益	18,932
法人税、住民税及び事業税	2,349
法人税等調整額	2,888
法人税等合計	5,238
四半期純利益	13,694
非支配株主に帰属する四半期純利益	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,611

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	13,694
その他の包括利益	△27,052
その他有価証券評価差額金	△27,088
繰延ヘッジ損益	△115
退職給付に係る調整額	151
四半期包括利益	△13,358
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,419
非支配株主に係る四半期包括利益	61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社である株式会社北國銀行の一般貸倒引当金(貸出条件緩和債権等を有する債務者等でキャッシュ・フロー見積法適用先を除く)は、これまで主として今後1年間の予想損失額又は3年間の予想損失額を見込んで計上しており、予想損失額は、1年間又は3年間の貸倒実績を基礎とした貸倒実績率の過去の一定期間における平均値に基づき損失率を求めて算定しておりました。

一方で、当社グループはお客様との関係性(リレーション)を起点に、将来性・成長性を重視した事業性理解に基づく取引方針を採用し、お客様の課題解決を図り、与信管理に取り組んできました。

こうした背景に加え、株式会社北國銀行の貸出金ポートフォリオ特性の変動を的確に把握するために債務者区分を細分化し、今後の景気変動要因も考慮すべく過去の長期的な景気変動を反映することで、より適切な貸倒引当金を見積もることができると考え、これらを反映した引当方法の検討を進めてまいりました。当第1四半期連結会計期間において、データの分析及び整備並びに関連する内部統制の整備が完了したことから、貸倒引当金に関する見積りの変更を行っております。

具体的には、予想損失額の算定方法は、これまで重視してきた財務情報等に加えてお客様との関係性(リレーション)・お客様の事業への理解度(事業性理解)を踏まえて細分化したグループ毎に1年間又は3年間の倒産実績を基礎とした倒産確率を求め、景気変動要因を加味するため、過去の倒産確率の長期平均値に基づき算出した予想損失率を用いて算定する方法に変更しております。

この見積りの変更により、当第1四半期連結会計期間末の貸倒引当金は3,018百万円減少し、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は3,018百万円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に伴う影響)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束時期を2022年度中、本格的な経済活動回復は2023年度中と想定し、株式会社北國銀行の貸出金等の信用リスクに一定の影響があるとの仮定を置いております。当該仮定のもと、現時点で入手可能な情報により債務者区分を判定し貸倒引当金の見積りを行っております。

当該仮定は不確実であり、将来において新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況や経済への影響が上記仮定より変化した場合には、損失額が増減する可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 2023年3月期第1四半期 決算説明資料

(1) 2023年3月期第1四半期損益の概況

【北國フィナンシャルホールディングス連結】

○ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、北國銀行単体の株式等損益が増加し前年同期比43億86百万円増加の136億11百万円となりました。

【北國銀行単体】

○ コア業務純益は、資金利益の増加により前年同期比16億20百万円増加し、54億4百万円となりました。資金利益は、主に有価証券利息配当金の増加により、前年同期比8億61百万円増加し、104億47百万円となりました。

○ 経常利益は、株式等損益の増加により前年同期比56億13百万円増加の187億28百万円となりました。

○ 四半期純利益は、前年同期比44億88百万円増加の136億4百万円となりました。

【北國フィナンシャルホールディングス連結】

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	2022年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (B) (北國銀行連結)	前年同期比 (A) - (B)	2023年3月期 第2四半期 業績予想値 (6ヵ月間)
連結業務粗利益	9,831	12,973	△3,142	
資金利益	10,475	9,600	875	
信託報酬	0	0	0	
役務取引等利益	1,454	1,575	△121	
その他業務利益	△2,098	1,797	△3,895	
営業経費 (△)	7,435	7,858	△423	
貸倒償却引当等費用 (△)	△2,699	1,269	△3,968	
個別貸倒引当金繰入額 (△)	-	756	△756	
一般貸倒引当金繰入額 (△)	-	557	△557	
貸出金償却 (△)	0	0	0	
債権売却損 (△)	21	28	△7	
貸倒引当金戻入益	2,642	-	2,642	
償却債権取立益	78	73	5	
株式等関係損益	13,356	8,871	4,485	
その他	515	622	△107	
経常利益	18,968	13,339	5,629	12,500
特別損益	△35	△53	18	
税金等調整前四半期純利益	18,932	13,285	5,647	
法人税、住民税及び事業税 (△)	2,349	3,729	△1,380	
法人税等調整額 (△)	2,888	296	2,592	
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	33	50	
親会社株主に帰属する四半期(中間)純利益	13,611	9,225	4,386	7,500

(注) 1. 当社は2021年10月1日設立のため2022年3月期第1四半期の連結計数はありませんが、北國銀行を親会社とする旧組織の計数を参考として記載しております。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 2023年3月期第2四半期業績予想値は、2022年4月28日に公表した予想値であります。

【北國銀行単体】

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	2022年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (B)	前年同期比 (A) - (B)	2023年3月期 第2四半期 業績予想値 (6ヵ月間)
経常収益	31,729	24,106	7,623	
業務粗利益	9,180	12,591	△ 3,411	
資金利益	10,447	9,586	861	
信託報酬	0	0	0	
役務取引等利益	1,103	1,398	△ 295	
その他業務利益	△2,370	1,607	△ 3,977	
うち債券関係損益	△3,121	1,405	△ 4,526	
経費 (△)	6,897	7,401	△ 504	
人件費 (△)	2,728	3,458	△ 730	
物件費 (△)	3,602	3,319	283	
税金 (△)	566	623	△ 57	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	2,283	5,190	△ 2,907	
コア業務純益	5,404	3,784	1,620	6,000
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	4,524	3,566	958	
一般貸倒引当金繰入額 (△) ①	-	503	△ 503	
業務純益	2,283	4,687	△2,404	
臨時損益	16,445	8,428	8,017	
うち株式等損益	13,356	8,871	4,485	
うち不良債権処理額 (△) ②	21	878	△857	
うち貸倒引当金戻入益 ③	2,259	-	2,259	
うち償却債権取立益 ④	1	1	0	
経常利益	18,728	13,115	5,613	11,500
特別損益	△ 35	△ 54	19	
税引前四半期純利益	18,692	13,061	5,631	
法人税、住民税及び事業税 (△)	2,288	3,685	△1,397	
法人税等調整額 (△)	2,799	258	2,541	
四半期 (中間) 純利益	13,604	9,116	4,488	7,000
実質不良債権処理額 ①+②-③-④	△2,239	1,379	△3,618	

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2023年3月期第2四半期業績予想値は、2022年4月28日に公表した予想値であります。

(2) 預金・貸出金等の残高 (北國銀行単体、未残)

- 預金(譲渡性預金含む)は、個人預金、法人預金ともに増加し、前年同期比2,431億円増加の4兆4,368億円となりました。
- 貸出金は、前年同期比335億円減少の2兆5,890億円となりました。

① 預金・貸出金の残高

(単位：億円)

(単位：億円)

	2022年6月末	2021年6月末	2022年3月末
預金	44,368	40,497	42,712
譲渡性預金	—	1,440	14
預金、譲渡性預金合計	44,368	41,937	42,727
うち個人預金	28,349	27,136	27,812
貸出金	25,890	26,225	26,039
うち消費者ローン	10,168	10,034	10,146
うち住宅ローン	9,849	9,679	9,818

② 個人預り資産

(単位：億円)

(単位：億円)

	2022年6月末	2021年6月末	2022年3月末
国債	246	285	250
投資信託	876	843	849
保険窓販	1,446	1,506	1,461

(3) 時価のある有価証券の評価差額 (北國銀行単体)

- 時価のある有価証券の評価差額は、前年同期比714億円減少し、112億円の含み益となっております。

(単位：億円)

(単位：億円)

	2022年6月末				2021年6月末				2022年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	13,358	112	577	464	12,120	826	916	89	13,473	496	753	256
株式	1,161	553	563	10	1,490	770	810	39	1,374	705	718	13
債券	7,995	△107	1	108	7,373	18	21	2	8,134	△55	4	59
その他	4,201	△334	11	346	3,256	37	84	47	3,965	△153	30	183

- (注) 1. 四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、当四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
2. 有価証券のほか、信託受益権等を含めております。

(4) 金融再生法開示債権 (北國銀行単体)

○ 金融再生法ベースの開示債権 (部分直接償却前) は743億円と前年同期比110億円増加しました。
また、総与信に占める割合は前年同期比0.28ポイント増加し、2.54%となりました。

① 部分直接償却前

(単位：億円)

(単位：億円)

		2022年6月末	2021年6月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		248	146	173
危険債権		398	458	496
要管理債権	三月以上延滞債権	5	7	7
	貸出条件緩和債権	90	21	90
小計 (A)		743	633	768
正常債権		28,464	27,368	26,334
総与信残高 (B)		29,208	28,001	27,103
総与信に占める割合 (A)／(B)		2.54%	2.26%	2.83%

② 部分直接償却後

(単位：億円)

(単位：億円)

		2022年6月末	2021年6月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		237	134	162
危険債権		398	458	496
要管理債権	三月以上延滞債権	5	7	7
	貸出条件緩和債権	90	21	90
小計 (A)		732	622	758
正常債権		28,463	27,367	26,333
総与信残高 (B)		29,196	27,989	27,092
総与信に占める割合 (A)／(B)		2.51%	2.22%	2.79%

(5) 自己資本比率 (国際統一基準)

○ 連結自己資本比率は、2022年3月末比0.52ポイント低下し、12.09%となりました。

【連結】

(単位：億円)

(単位：億円)

		2022年6月末	2021年6月末	2022年3月末
(1) 総自己資本比率	(4)/(7)	12.09%	13.55%	12.61%
(2) Tier 1比率	(5)/(7)	10.36%	11.86%	10.81%
(3) 普通株式等Tier 1比率	(6)/(7)	10.35%	11.85%	10.79%
(4) 総自己資本の額		2,699	3,085	2,863
(5) Tier 1資本の額		2,313	2,701	2,454
(6) 普通株式等Tier 1資本の額		2,311	2,698	2,451
(7) リスク・アセットの額		22,317	22,759	22,701
(8) 総所要自己資本額		1,785	1,820	1,816

(注) 信用リスク・アセットの算出においては標準的手法、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては基礎的手法を採用しております。

当社は2021年10月1日設立のため、2021年6月末の連結自己資本比率はありませんが、北國銀行を親会社とする旧組織の連結自己資本比率を参考として記載しております。

【北國銀行単体】

(単位：億円)

(単位：億円)

		2022年6月末	2021年6月末	2022年3月末
(1) 総自己資本比率	(4)/(7)	11.06%	13.22%	11.66%
(2) Tier 1比率	(5)/(7)	9.33%	11.54%	9.86%
(3) 普通株式等Tier 1比率	(6)/(7)	9.33%	11.54%	9.86%
(4) 総自己資本の額		2,444	2,987	2,622
(5) Tier 1資本の額		2,062	2,608	2,216
(6) 普通株式等Tier 1資本の額		2,062	2,608	2,216
(7) リスク・アセットの額		22,097	22,596	22,470
(8) 総所要自己資本額		1,767	1,807	1,797

(注) 信用リスク・アセットの算出においては標準的手法、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては基礎的手法を採用しております。

(6) 重点取組業務収益の状況 (連結)

① カード業務

(単位: 百万円)

	2022年6月期		2021年6月期
		2021年6月期比	
カード業務利益	341	28	312
カード業務収益	562	66	496
カード業務費用(△)	221	38	183

(単位 会員数: 千人、決済額: 百万円/月、契約数: 先)

	2022年6月末		2021年6月末	2022年3月末
		2021年6月末比	2022年3月末比	
VISAデビットカード会員数	294	44	11	250
VISAデビットカード決済額	4,947	1,120	△179	3,827
加盟店契約数	7,355	△85	24	7,440

② コンサルティング業務

(単位: 百万円)

	2022年6月期		2021年6月期
		2021年6月期比	
コンサルティング業務収益	209	87	122
法人コンサルティング	133	48	85
個人コンサルティング	76	40	36

③ リース業務

(単位: 百万円)

	2022年6月期		2021年6月期
		2021年6月期比	
リース業務利益	253	△30	283

(単位: 百万円)

	2022年6月末		2021年6月末	2022年3月末
		2021年6月末比	2022年3月末比	
リース債権及びリース投資資産残高	35,322	△48	127	35,370

